

～ 夢を抱き、たくましく次の一步を踏み出す 15 歳の育成 ～ 幼小中一貫教育を推進！

未来へつながる通信 vol.177

発行：令和6年8月9日 袋井市教育委員会

幼児教育・保育と学校教育の質の向上を図る 第2回就学前教育推進会議を開催



【小学校、公立園、私立園から約60名の職員が参加】

幼小が連携し、学びの土台・生活の基盤を育む

袋井市では、年長から小学1年生にかけての2年間に、幼小が連携して指導を行うことにより、学びや生活の基盤を育む取組（架け橋レインボープロジェクト）を行っています。この取組を充実したものとするために、幼児教育施設（幼稚園・保育園・こども園等）の年長児担任と小学校の1年生担任が一堂に会し、「第2回就学前教育推進会議」を開催しました。今回の目標は主に3つです。①1年生の1学期間の姿を共有し、今後の教育・保育に生かす。②架け橋期の取組の成果と課題を洗い出し、理解する。③幼児教育施設や学校が2学期以降に取り組みたいことについて話し合う。

会議は、グループワークを中心に進められました。「小学校での『遊び』の質を高めるには」「秋の自然物を使った活動を充実させるには」といった具体的な視点で活発な意見交換や協議がなされました。この就学前教育推進会議は、11月（第3回）と1月（第4回）にも開催します。



【小学校区ごとの班でグループワークを実施】



「未来へつながる通信」は、袋井市が進める「幼小中一貫教育」について、考え方や関連する取組の様子などを、お知らせするために発行しています。

